

令和7年度

# NPO 美しい田園 21 活動記録

東北支部

## 荒廃農地解消活動（大根栽培：草刈り作業）

令和7年6月12日（木）午前9:30から、宮城県加美郡加美町の薬菜（やくらい）山麓地区において、NPO 法人美しい田園 21 東北支部主催の荒廃農地解消活動として、大根を栽培する畑と周辺の草刈り作業等のため、会員12名が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における荒廃農地解消及び農村地域振興を目的として、NPO 法人美しい田園 21 東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、8月下旬の播種に向けて、畑と周辺の草刈り作業を行いました。



## 荒廃農地解消活動（大根栽培：播種作業）

令和7年8月22日（金）午前10：00から、宮城県加美郡加美町の薬菜（やくらい）山麓地区において、NPO法人美しい田園21 東北支部主催の荒廃農地解消活動として、大根の播種作業等が行われ、47名（会員29名）が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における荒廃農地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21 東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、昨年以上の収穫を願いながら畑周辺の草刈りと播種作業を行いました。



【草刈り作業】



【播種作業】



【播種作業】



【播種作業】



【集合写真】

## 荒廃農地解消活動（大根栽培：消毒作業）

令和7年9月12日（金）午前9：00から、宮城県加美郡加美町の薬（やくらい）山麓地区において、NPO法人美しい田園 21 東北支部主催の荒廃農地解消活動として、大根の消毒作業が行われ、会員6名が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における荒廃農地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園 21 東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、降雨が続き順延となっていた今年最初の消毒作業を行いました。全体的に良好な発芽状況で、昨年以上の大収穫が期待できそうです。



消毒作業



消毒作業



集合写真

## 荒廃農地解消活動（大根栽培：除草・消毒作業）

令和7年9月26日（金）午前10：00から、宮城県加美郡加美町の薬菜（やくらい）山麓地区において、NPO法人美しい田園 21 東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の除草・消毒作業が行われ、28名（会員18名）が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における荒廃農地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園 21 東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、大根の生育の妨げになる雑草を除去した後、今年2度目の消毒作業を行いました。降雨で作業は延期になりましたが、大根は本葉の数も15枚程度と順調に生育しています。



【除草作業】



【除草作業】



【消毒作業】



【消毒作業】



【集合写真】

## 荒廃農地解消活動（大根栽培：消毒作業）

令和7年10月3日（金）午前10：00から、宮城県加美郡加美町の薬菜（やくらい）山麓地区において、NPO法人美しい田園21 東北支部主催の荒廃農地解消活動として、大根の消毒作業が行われ、会員10名が参加、今回は農業実践（後期）研修に参加している6名（宮城県、水土里ネットみやぎ、みやぎ農業振興公社）の方にも協力をいただきました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における荒廃農地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21 東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、今年3回目の消毒作業と周辺の草刈り作業を行いました。前回作業から1週間、本葉の数は16枚程度でしたが、本葉が大きく成長し大根も順調に生育しています。



## 荒廃農地解消活動（大根栽培：除草・消毒作業）

令和7年10月15日（水）午前10：00から、宮城県加美郡加美町の薬菜（やくらい）山麓地区において、NPO法人美しい田園21 東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の除草・消毒作業を行うため、46名（会員26名）が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における荒廃農地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21 東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、雑草を除去した後に今シーズン最後の除草作業（4回目）を行いました。本葉数も30枚程度に増え順調に生育しています。11月上旬予定の収穫が楽しみです。



## 荒廃農地解消活動（大根栽培：収穫作業）

令和7年11月5日（木）午前10：00から、宮城県加美郡加美町の薬菜（やくらい）山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の収穫作業が行われ、98名（会員45名）が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における荒廃農地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

秋晴れの中、今シーズン最後の作業となる収穫作業を行いました。今年も”大豊作”



## 農地・農業用水等の資源保全活動（ため池の清掃作業）

令和8年3月13日（金）午前9：30から、宮城県仙台市若林区の大沼（おおぬま）において、農地・農業用水等の資源保全活動として、大沼周辺清掃美化活動が行われ、NPO法人美しい田園21東北支部からは23名が協力参加しました。

この活動は、仙台東土地改良区が主催して、農業用水源の一つである「大沼」の水質保全・生態系保全等を目的に開催しているものです。



【仙台東土地改良区理事長 ご挨拶】

活動には、一般参加者、仙台市、宮城県土地改良事業団体連合会及びNPO美しい田園21東北支部が協力参加し、総勢46名で大沼ため池の清掃作業を行いました。

時折、春の訪れを感じさせる心地よい風が吹く中での作業となりました。



【清掃活動】



【清掃活動】



【集合写真】

関東支部

## 第 28 回「千葉の水回廊ウォーク&疎水百選印旛沼ウォーク」

令和7年4月5日(土) 午前9:30から新検見川公園から(独)水資源機構の大和田機場までの花見川沿いの散策路で行われた、NPO法人 ちば歩こう会主催の千葉の水回廊ウォーク&疎水百選印旛沼ウォークに283名(うち会員120名)参加し、清掃活動を行いました。

本活動は、印旛沼の洪水を東京湾に速やかに排水するため、印旛沼干拓事業において開削された排水河川の花見川に沿った散策路の環境保全を目的としています。今年で28回目を迎える「千葉の水回廊ウォーク&疎水百選印旛沼ウォーク」に関東支部の本活動に賛同した120名が参加し(11kmコース)、ウォーキングに併せて花見川沿道の清掃活動を行いました。

9時30分に新検見川公園をスタートし、(独)水資源機構の大和田機場まで、花見川沿いの散策路周辺のゴミを拾い集めながら2~3時間歩き、ゴール地点の大和田機場に設けられた集積場所でゴミの分別を行いました。

当日は、3月末からの天候不順が嘘のような晴天となり、歩き始めると汗ばむほどの陽気のなか、桜の開花が遅れたことが幸いした満開の桜のもとで、自然に触れながら活動することができました。



スタート前の活動参加者



花見川沿いのゴミ拾



拾ったゴミの持ち運び



集積所での分別作業

## 八間川クリーン大作戦2025

令和7年6月18日（水）午前10:00から国営両総地区 下八間川（川尻水門～第1排水機場区間）で行われた、両総用水事業推進協議会（事務局：両総土地改良区）主催の八間川クリーン大作戦に112名（うち会員20名）参加しました。

両総土地改良区が企画した本活動は、八間川に繁茂する特定外来種ナガエツルノゲイトウの駆除作業を行うもので、土地改良区、NPO 田園 21 のほか、行政機関（関東農政局、千葉県、水資源機構、香取市等）や関係団体の協働により、昨年に引き続き実施されました。

昨年の徹底駆除の結果、前回、水門手前の水面一杯に繁茂していたナガエツルノゲイトウの水面への侵入がなく、今回の作業は水の中には入らず、水路法面に繁茂しているナガエツルノゲイトウの徹底駆除作業となりました。

作業は左岸と右岸に分かれ行い、護岸の石の裏奥深くまで根を張ったナガエツルノゲイトウの抜根作業に多くの労力を費やしました。当日は、最高気温が30度を超える炎天下での作業となったことから、熱中症にならないよう土地改良区から提供された冷えた飲料水で水分補給しながら小まめに休憩を取るなどして、無事作業を終えることが出来ました。土地改良区によれば、今回の作業の成果次第では八間川での駆除作業は一区切りとし、来年は繁殖が進む栗山川などでの駆除作業も検討したいとのことでした。

### 作業開始時の田園 21 参加者



## 令和7年度第1回御前山ビオトープ育成活動

令和7年6月4日（水）午前9:30から常陸大宮市「御前山ビオトープ」で行われた、御前山ダム環境センター及びNPO 美しい田園 21 関東支部主催の第1回御前山ビオトープ育成活動に72名（うち会員49名）参加しました。

御前山ダム建設時にダム周辺に生育していた、希少種の移植先である御前山ビオトープの順応的管理と御前山ダム公園及び遊歩道に植樹した山桜の管理、ビオトープ管理棟等の老朽化した施設の補修等及び保全管理を御前山ダム環境センターとNPO 田園 21 関東支部の主催により保全活動を実施しています。

今回も昨年度と同様に多くの方々が集まり、林間部・水田部の希少種の選抜除草、土手草刈り、ベンチ・案内看板補修、藤棚苜込、取水口・河川内の流路改善及び流木等撤去、池の余水吐き部漏水補修、御前山ダム湖周辺桜倒木処理の6班にて保全活動を実施いたしました。開催前日は、夜の11時頃まで雨が降り現地の状態が心配でしたが、その後天気が回復し開催時刻の9時には雨の影響も無く、思っていたほど暑くも無く快適に作業を実施することが出来ました。



作業内容の説明

桜倒木除去



漏水部補修



## 令和7年度第2回御前山ビオトープ育成活動

令和7年11月5日（水）午前9:30から常陸大宮市「御前山ビオトープ」で行われた、御前山ダム環境センター、NPO 美しい田園 21 関東支部主催の御前山ビオトープ育成活動に75名（うち会員42名）参加しました。

御前山ダムの建設に伴い水没する湛水地内に自生していた希少種を移植した御前山ビオトープの順応的管理、老朽化した施設の補修等の保全管理、御前山小学校の卒業記念として御前山ダム公園と遊歩道に植樹された千本以上の山桜の剪定等を、御前山ダム環境センターとNPO 田園 21 関東支部の主催により毎年6月と11月の年2回実施しています。

当日は今秋一番の冷え込みでしたが、地元住民、地元企業及び田園 21 関東支部から、合わせて75名（うち田園 21 関東支部から42名）と昨年と同様、多くの方々が集まり、取水口及び取水口池部の土砂撤去、河川の流路改善、ビオトープの漏水部補修、林間部／湿地部の希少種の選抜除草、御前山ダム堤体下流階段の草刈りの7班に分れ、保全活動を実施しました。朝の集合場所は寒く感じられ、参加者を日当たりに集めての会長の挨拶、作業内容の説明を受けた後、各班に分かれ約2時間精力的に保全整備を実施して頂きました。作業終了後には、地元の方より炊き込みご飯・沢山の農産物を頂きました。



取水工・河川流況整備

河川の裏面補修



上流部



中流部



漏水部補修



法面布団籠補修

補修後  
完了



湿地部除草



林間部除草



堤体部除草

北陸支部

## 福島潟クリーン作戦

令和7年4月12日(土) 午前 9:00 から福島潟(新潟市北区前新田地内)で行われた、福島潟環境保全対策推進協議会(3市3土地改良区1漁協)主催の福島潟クリーン作戦に600人(うち会員14人)参加しました。

今年の「福島潟クリーン作戦」は生憎の小雨模様でしたが、待ちに待った桜が開花して菜の花と競い合う中での活動となりました。

残念ながら今年も全体集会が有りませんでした。それでも参加者は受付の後、集合写真を早々と済ませ、活動場所へ移動して清掃活動が開始されていました。

清掃作業は、主催側関係者による船上からの作業と、一般参加者による陸上部から作業の両面で行われたことから、概ね2時間弱で作業が終了しました。

このクリーン作戦は今回で46回を数えておりますが、開会式・閉会式が無い為、福島潟の歴史や、今日・地域的な位置付け、そして本活動の意義などが本活動の参加者にどれだけ理解されているのか疑問に思える活動となったのは残念です。

スローガン“子どもたちに残そう福島潟！ごみのないふるさとを！”



## 『柏崎周辺地区(完了) 後谷ダム草刈り作戦』

令和7年5月25日(日)午前8:00から新潟県柏崎市西山町別山で行われた、後谷ダムの地元・後谷集落主催の後谷ダム草刈り作戦に9人(うち会員1人)参加しました。

5月25日(日)あいにくの雨模様の中“柏崎周辺地区(完了)後谷ダム草刈り作戦”が実施されました。本活動はダム完成後から実施されており、一時事業主体の諸事情により市民参加の活動は一旦中止されましたが、地元後谷集落の手により実施されて来た活動です。

NPO 田園21北陸支部でも当初より一部の会員が農政局 OB 有志として参加して来ており、令和3年からは北陸支部と柏崎土地改良区、柏崎集落との活動協定が結ばれ継続的に関わって来た活動です。

過去には、NPO 会員や事業所 OB や近隣の北陸農政局退職者など交え10人以上の参加が有りましたが、NPO 会員の減少や集落住民の高齢化に伴う体調不良、家庭事情などにより参加者が減少してきております。今年は、近隣集落からの応援を得て9人の参加で行いました。

途中休憩では、風もあり汗ばんだ体が冷え熱い飲み物を欲する程でしたが、後谷集落の高齢化が話題となり、今のままでは草刈り活動の継続が困難との話になりました。継続するためには、①近隣集落からの応援を求める。②草刈りドローンの貸与などにより少人数での対応などの対策案が出ましたが、今後の課題として継続検討されることになりました。

近年、どの業種どこの地域でも高齢化・人員不足が社会問題となっておりますが、国営造成施設の管理も例外ではなく、事業実施中から持続的な管理を可能とする体制構築や、後継者育成・人員確保等々施設管理の在り方について、事業機関・関係者の共通認識・醸成が不可欠ではないかと問いかけられているような気がします。参加の皆さん雨模様の中で大変ご苦労様でした。また、秋にお会いしましょう。



作業状況(右岸堤体)



作業完了(左岸堤体)



作業完了(右岸堤体)

## 坂井北部地区「荒廃農地解消活動(さつま芋の苗植え作業)」

令和7年5月27日(火)午前9:30から福井県あわら市二面地内で行われた、坂井北部土地改良区主催の荒廃農地解消活動に22名(うち会員10名)参加しました。

坂井北部土地改良区は、平成21年度から高齢化等により耕作放棄された農地の再生を目的として関係機関に再生活動を呼びかけ、農地を活用して将来を担う子供達(保育園児)とともに、さつま芋の収穫体験を通した情操教育活動を行っております。

NPO 美しい田園21北陸支部は平成22年から本活動に参加しており、秋に保育園児と一緒に沢山のさつま芋が収穫できるよう、この春に NPO 会員、土地改良区職員、福井県土連職員の総勢 22 名が力を合わせて、シート張りからさつま芋の苗植えまでの作業に汗を流しました。

参加された会員の皆さま、本当にお疲れさまでした。秋の収穫が楽しみです。



シート張りから苗の植付け作業まで、よくがんばりました」

東海支部

## 矢作川用水地区（西尾幹線水路）の除草・清掃活動

令和7年10月2日(木) 10時から西尾幹線水路沿線（愛知県西尾市小島町地内）で行われた除草・清掃活動に46名（うち会員36名（近畿支部3名を含む））が参加しました。

活動実施場所の西尾幹線水路（アイシン南エリア及び矢作古川放流工）は、新矢作川用水農業水利事業により老朽化した施設を改修した農業用水路です。改修による用水路の暗渠化によりゴミ投棄などの防止が図られましたが、排水路への土砂流入・暗渠化により雑草やツル草等の繁茂などにより景観が損なわれていました。また、景観に配慮し植えられたアジサイ脇の草も繁茂し、除草が必要になっていました。

朝のうちは、涼しく感じる気候でしたが、快晴に恵まれ活動中は汗ばむ陽気の中での作業となりました。また、今年は、水路に隣接する企業の方5名にも作業に加わっていただきました。刈り取った草や枝などは集積を行い後日、土地改良区連合で処理場に搬出していただくことになりました。



## 宮田用水地区 大江排水路の除草・清掃活動

令和7年10月16日（木）9時30分～11時30分に大江排水路緑道工区（愛知県一宮市内）で行われた除草・清掃活動に102名（内訳：会員42名、非会員5名、建設協会55名）が参加しました。

宮田用水路は、愛知県の濃尾平野を受益とする用水路で、国営事業により用水路と排水路が分離され、大江用水路は管路化（地中埋設）し、排水路は大江排水路として農地と周辺地域の排水を流下させています。

当日は秋雨前線の影響で降雨が心配されましたが曇り空が広がる中の作業となりましたが、エリアを二班に区切り上流班は下流へ、下流班は上流へと清掃活動を行うことで作業の効率化を図りました。

排水路の左右岸には桜の木が植えられ、地域の皆さんの散歩やジョギングコースとなっていますが、清掃活動により地域の環境保全に貢献することができました。



大江排水路除草・清掃状況



作業終了後集合

近畿支部

## 令和7年度 丹後国営大クリーン作戦

令和7年5月24日(土)午後1:30から丹後東部地区完工記念碑周辺及び支線道路で行われた、丹後土地改良区・丹後会主催の丹後国営大クリーン作戦に23名(内会員8名)参加しました。

活動内容は、丹後東部地区の完工記念碑周辺の草刈り・清掃・ごみ拾い、道路溝の泥上げを行いました。小雨の中、多くの方に参加して頂きそれぞれの活動に汗をかきながらの作業となりましたが、概ね時間内にすべての作業を無事終えることが出来ました。



## 第16回余呉湖外来魚駆除釣り大会

令和7年6月1日(日)午前9時30分から余呉湖(滋賀県長浜市余呉町)で行われた水土里ネット湖北主催の第16回余呉湖外来魚駆除釣り大会に176名(内会員62名)が参加しました。

余呉湖は琵琶湖の北部に位置する天然湖で、国営湖北土地改良事業(昭和40年～昭和62年)により、農業用水ネットワークの中心として再開発が行われた湖。余呉湖には多数の固有種が生息するなど学術的にも貴重であるが、ブルーギル、ブラックバス等の外来魚が異常繁殖し、固有種や在来種が減少。このため、外来魚駆除対策の一環として、毎年、外来魚を釣りによって駆除する本大会を開催。本大会は、釣り上げた外来魚の重量を競うもので、当日は、家族連れも含め167名の参加があり、駆除した外来魚の総重量は約119kg。



## 「大和高原北部地区」環境美化運動

令和7年6月7日(土)午前9:30から上津ダム及びダム湖周辺(奈良県山辺郡山添村)で行われた、大和高原北部土地改良区主催の大和高原北部地区環境美化運動に189名(うち会員4名)参加しました。

草刈り作業には丁度良い曇天の下、大和高原北部地区の水源地である上津ダム及びダム湖周辺の環境美化運動が実施されました。作業範囲は上津ダム右岸・左岸の法面、土舞台公園、ダム湖周辺道路と作業範囲が広範囲に及ぶことから、毎年、地元関係者も含め沢山の人がこの運動に参加してくれます。受付開始時間は9時からとなっておりますが、既に多くの参加者が受付を済ませておりました。冒頭、管理主体である山添村村長、土地改良区理事長等の挨拶があり、作業内容の説明後作業が開始されました。

急斜面の長大法面での草刈作業や広大な土舞台公園での作業ではありましたが、手慣れた人も多く、また、自走式草刈り機等の活躍により予定していた時間内に作業を終えることができました。



主催者挨拶



ダム右岸法面 作業状況



土舞台公園 作業状況



右岸法面作業後状況

## 令和7年度「北淡路地区 クリーン活動」

令和7年6月21日(土) 午前10:00から常盤ダム(堤体法面、湖畔、揚水機場、周辺道路、親水公園)で行われた水土里ネット北淡路主催の北淡路地区クリーン活動に:68名(うち 会員 8名)参加しました。

常盤ダムは、北淡路農地開発事業により造成された施設で、ダム湖周辺の造成団地では、ブドウ栽培が盛んに行われています。本活動は今年で12回目となります。参加者は地元改良区組合員を主に、国、県、市関係者に加えて業界や事業所OBが参加しました。参加者は5班に分かれて各施設の草刈りに汗を流しました。作業終了後、参加された方々全員が親水公園東屋に集合して、主催者から設置後の太陽光発電施設の効果等について環境学習を受けました。



集合写真



会員集合



草刈り作業会員



作業完了後



環境学習

## 令和7年度第1回吞吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業

令和7年7月26日(土) 午前 9:00から吞吐ダムで行われた、東播用水「水と緑の交流」実行委員会(水土里ネット東播用水、川代ダム域水管理協議会他)主催の第1回吞吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業に65名(うち会員51名)が参加しました。

東播用水「水と緑の交流」実行委員会は、国営東播用水事業の完了(平成4年度)を契機として、事業の意義と効用について広く地域住民への理解を深め、水源地域の人々と、水を利用する人々の交流の促進を図ることを目的として発足し、桜並木「水土里の路」公園管理作業が行われています。

当日は猛暑の中、主催者の実行委員会のメンバーのほか、美しい田園21の会員等、総勢65名の参加により各自熱中症対策を行ったうえで作業が行われました。次回は9月27日が予定されています。再会を期しての閉会となりました。

(参加者による草刈り作業状況)



## 令和7年度第2回吞吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業

令和7年9月27日(土)午前9時から吞吐ダム桜並木「水土里の路」公園で行われた東播用水「水と緑の交流」実行委員会(水土里ネット東播用水、川代ダム域水管理協議会他)主催の「水土里の路」公園管理作業に59名(うち会員43名)が参加しました。

東播用水「水と緑の交流」実行委員会は、国営東播用水事業の完了(平成4年度)を契機として、事業の意義と効用について広く地域住民への理解を深め、水源地域の人々と水を利用する人々の交流の促進を図ることを目的として発足し、年2回、桜並木「水土里の路」公園管理作業が行われています。当日は残暑の中、主催者の実行委員会のメンバーのほか美しい田園21の会員等、総勢59名の参加により作業が行われました。来年度の再会を期しての閉会となりました。

(参加者による草刈り作業状況)



## 愛知川地区 永源寺ダム湖岸クリーン作戦

令和7年10月9日(木)13:30より永源寺ダム湖岸(右岸網場上流部)において行われた、愛知川沿岸土地改良区主催の愛知川地区永源寺ダム湖岸クリーン作戦に190名(内会員76名)参加しました。

当日は晴天に恵まれ多くの参加者による活動となりました。永源寺ダム水位は作業するには最適な所まで下がっていました。昨年、天候の関係で活動が中止となり、2年振りの活動となったことから、多量の流木処理を想定していましたが、ダム流域では前回活動時から台風や豪雨等の影響が少なかったことなどもあり、流木量は特段増えている様子はありませんでした。ただ、太い大きな流木などが標高の高いところに集中しており、木の根が付いた流木などもあることから、チェーンソーで短く切断して、周辺の流木とともに数か所に運搬集積しました。また、当日は強風が吹いていたため、予定していた集積後の火入れは行いませんでした。



作業着手前 (流木漂着状況)



流木搬出作業状



## 東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 2025

令和7年10月18日(土)9時～11時に兵庫県丹波篠山市西谷地区内天満神社付近の里山において、東播用水土地改良区(共催:東播用水水源地域景観・環境保全隊(東播用水水利調整協議会))が主催する里地・里山保全活動に30名が(うち会員8名)が参加した。

上流・下流の交流を目的に、下流の自治体や土地改良区の職員等が、東播用水地区の水源地域保全活動に協力する12年目の活動となった。竹の伐採作業は、倒木を伴う危険な作業なので、NPO法人バイオマス丹波篠山の指導者を班長に3班編成を行い、大きく成長した孟宗竹の切断・集積作業→人力引き出し→伐採した竹のチップ化を行った。参加者は、伐採した竹を節で切断して筒状とした容器に詰め腐葉土にドングリを埋める森林再生のための苗木づくりを行った。

作業内容説明



集積作業

切断作業



引出し作業



## 一の木ダム周辺クリーンアップ作戦

令和7年10月25日（土）8時45分から10時30分まで、五條吉野土地改良区・五條吉野機関水利施設管理協議会の主催する「一の木ダム周辺クリーンアップ作戦（ダム左岸周辺、周回道路）」に90名（内会員49名）が参加しました。

活動内容は、例年の作業（ダム左岸の草刈り、周回道路のごみ拾い）を行いました。お天気は、あいにくの曇り空でしたが雨も降らず、参加者はそれぞれの活動に汗をかきながらの作業となり無事終わることが出来ました。作業後は、柿選果場に立ち寄り、五條市特産の柿をお土産にされる方も多くいました。



ダム左岸の草刈り



ダム左岸の草刈り



周回道路のごみ拾い



堤体道路の清掃

## 第12回 亀岡地区 施設管理支援活動

令和7年11月1日(土)午前8:30から幹線排水路古川兩岸(亀岡市馬路町堂ノ西他)で行われた、亀岡市川東土地改良区主催の亀岡地区施設管理支援活動に24名(うち会員19名)参加しました。

今年も昨年に引き続き幹線排水路の古川兩岸(府道宮前千歳線より北側約200m区間)法面の立木伐採と草刈作業です。朝9時作業開始のところ全員集合されたので早めの作業開始としました。土地改良区の方々も一緒になって立木伐採作業と草刈り作業を行いました。立木伐採作業ではチェーンソーとノコギリで立木を倒していました。草刈作業では、事前に除草剤を散布していたのですが、つる草が法面全面に蔓延っているため、茎が草刈機の刃に巻付き大変苦勞しました。予定の作業が完了できたので早めの終了となりました。



立木伐採作業



草刈り作業



草刈り作業



作業完了状況

## 蔵王ダムクリーン作戦（グラウンドワーク in 蔵王ダム 2025）

令和7年11月7日（金）13:30から蔵王ダム（滋賀県蒲生郡日野町蔵王）で行われた、水土里ネット日野川流域主催の蔵王ダムクリーン作戦に94名（うち会員3名）参加しました。

蔵王ダムがある日野町では、1996年から蔵王ダム背後地にある綿向山の標高[1,110m]に由来して、11月10日を「綿向山の日」と制定し清掃活動等を行っており、蔵王ダムクリーン作戦もこの時期に合わせて毎年実施されています。

今年の蔵王ダムは、貯水率100%でかんがい期を迎えましたが、雨が少なく、また連日の猛暑により7月より水位は下がり続け、8月には節水対策を実施し、なんとかかんがい期を終えたものの、今も満水位より約13mも下がった貯水率25%の状態となっていました。

冒頭、主催者である日野川流域土地改良区理事長より挨拶があり、集合写真撮影後、角型収納袋と鋸鎌を手に作業にとりかかりました。ダム堤体リップラップ材の間からは雑草が繁茂していましたが、多くの参加者により時間内に作業を終えることができました。



主催者挨拶



ゴミ収集



堤体除草



堤体除草

## 第 20 回翠明湖の桜を救え！糞屋ダム周辺整備

令和7年 11 月 16 日(日)午前 9 時から翠明湖(糞屋ダム)で行われた中ライオンズクラブ主催の(協賛:なか・やちよの森公園運営協議会、糞屋ダム管理所、加古川西部土地改良区)周辺整備に 73 名(うち会員 16 名)が参加しました。

昭和 61 年に植樹された桜 450 本は、翠明湖(糞屋ダム)の景観を維持し、4 月には美しい桜並木に多くの見学者が訪れます。この桜の手入れは、中ライオンズクラブ、なかやちよの森公園や多くのボランティアが中心となって過去 19 回開催されています。昨年に引き続き、ダム下流域の関係者と、昨年から NPO 美しい田園 21 が参加し、翠明湖(糞屋ダム)の周辺整備を実施しました。参加した総勢 73 名を草刈り班 3 グループと、伐採搬出班 4 グループに分け、翠明湖右岸の約 2.5 km の区間の桜木の下の除草作業、成長し道にはみ出した枝木の剪定作業、伐採した雑木の搬出作業を実施しました。多可町中ライオンズクラブ会長から、「昨年に続き参加いただき、今年も翠明湖周辺が美しくなった。引き続き皆さんとともに守っていきたい。」と話されました。今年は土地改良区の女性理事が加西の白米を使ってポン菓子作りに挑戦し、閉会后、参加者に振舞われました。

### <参加者による桜木の手入れと雑草の下刈り作業状況>



## 国営巨椋池地区地域貢献活動

令和8年3月10日(火)午前9時から京都府宇治市填島町 巨椋池干拓地幹線排水路で行われた、巨椋水辺プロジェクト、巨椋池土地改良区主催、NPO 法人美しい田園21近畿支部、水土里サポートきんき協力の国営巨椋池地区地域貢献活動に78名(うち会員70名)参加しました。

巨椋池干拓地は、国営第1号の干拓事業として戦前(S8～S16)に実施された京都市の南の都市近郊に広がる田園地帯です。清掃活動は国営農地防災事業の付帯府営事業により生態系に配慮した整備がなされた幹線排水路で、水路右岸側に巨椋水辺づくりプロジェクトにより植栽されたハナモモの並木が連なり、近隣住民のやすらぎの場・憩いの場としての役割を担っています。

今年は天候にも恵まれて多くの方に参加していただき、水路兩岸の道路沿いや水路内のビン・缶等ゴミ拾いと除草が行われ、無事活動を終えることができました。

集合写真



ゴミ拾い



除草作業



除草作業



回収ゴミ



## 第 23 回 余呉湖クリーンアップ作戦

令和 8 年 3 月 14 日(土) 午前 10 時から滋賀県長浜市余呉湖（湖岸及び同沿線道路）で行われた水土里ネット湖北主催の第 23 回余呉湖クリーンアップ作戦に 110 名（会員数 24 名）が参加しました。

余呉湖は琵琶湖の北部に位置する天然湖で、国営湖北土地改良事業（昭和 40 年～昭和 62 年）により農業用水ネットワークの中心として再開発が行われた湖。美しい景観などから多数の観光客が来訪するが、湖岸等へのゴミの不法投棄が問題となっており、毎年、湖岸（周囲 6.4km）等において、関係団体と協力し、ゴミ収集活動に取り組み、可燃ゴミ 20 kg、不燃ゴミ 110 kgを収集し、環境改善にも寄与する有意義な活動であることから、今後も継続していく方針です。



(集合写真)



(湖岸でゴミ等収集活動状況)

中国四国支部

## 2025 春季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区)

令和7年6月7日(土)午前80:30から中海干拓 揖屋工区地内(島根県松江市東出雲町)で行われた、揖屋干拓営農協議会及び揖屋干拓水土里ネット主催の春季中海干拓地クリーン作戦に194名(うち会員58名)参加しました。

島根県松江市東出雲町にある、中海干拓 揖屋(いや) 干拓地は、キャベツやブロッコリー、津田かぶ等の農産物生産の他、ふれあい農園の利用など地域に憩いと安らぎの場を与えています。また、干拓地内の道路は市民の生活道路にも使用されていますが、空き缶やプラスチックゴミ等の投棄がみられ、投棄されたゴミは干拓地の排水機場に流れ着き、干拓地内の排水を担う土地改良施設の管理に支障が生じており、毎年、春と秋の2回清掃活動を行っています。

参加者は、梅雨入り前の晴れ間の下、広い干拓地に散らばり、水路や道路の清掃を行いました。今年はテレビ局の取材もあり、当会員もインタビューを受け「(清掃活動は)気持ちがいい。干拓事業で農地を作ったので(今後も)農地として活用してほしい」とのコメントが昼と夕方のニュースで放送されました。



参加者によるゴミ拾い



T V局も取材

## 奥出雲おろちシンコウ支援活動

令和7年7月19日(土)午前 9:00 から国営横田開拓地区八川4団地(島根県仁多郡奥出雲町)で行われた、地元農家及びNPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に24名(うち会員23名)参加しました。

島根県東南端に位置する奥出雲町(旧横田町)において実施された、国営農地開発事業「横田地区」にて、耕作放棄地対策に取り組んでいる地元農家と本NPOが連携し、造成団地である八川4団地において、奥出雲の在来品種である「横田子そば」の種まき作業と農地周辺の草刈作業を行いました。

例年より早い梅雨明けにより、標高450m程の八川4団地でも、当日は厳しい暑さの中での作業となりましたが、毎回参加している会員の方達は、自主的に作業を開始するなど効率的な実施に心がけ、無事所定の作業を終えることが出来ました。

今年は、徳島出身の会員の方より“半田そうめん”の差し入れがあり、参加者は“出雲そば”ではなく“そうめん”を手土産に岐路につきました。



参加者したNPO会員



草刈り



蕎麦の種まき



鎮圧

## 面河ダム清掃活動（第1回）

令和7年7月26日(土)午前9:30から面河ダム公園周辺（愛媛県上浮穴郡久万高原町）で行われた道前道後土地改良区連合主催の面河ダム清掃活動(第1回)に 208名(うち会員86名)が参加しました。

国営かんがい排水事業「道前道後平野地区」にて造成した、愛媛県と高知県の県境近くにある「面河(おもご)ダム」において、ダム公園周辺の清掃活動に参加しました。

主催者からは、安全第1を心掛け、熱中症に注意し、水分をこまめに摂取すること、30分毎に休憩を取ること、“マムシ・蜂”にも注意すること等の諸注意のあと作業を開始しました。

当日は、作業開始前に小雨が降るなど、不安定な天気でしたが、延べ面積1ha以上ある公園を、水の庭園、グラウンド、遊歩道等のブロックに分かれ、道前平野・道後平野の水源である面河ダムに感謝の気持ちも込め、除草作業等に汗を流しました。



## 奥出雲おろちシンコウ支援活動

令和7年9月6日(土)午前 9:00 から国営横田開拓地区 八川4団地(島根県仁多郡奥出雲町)で行われた地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に17名(うち会員16名)が参加しました。

島根県東南端に位置する奥出雲町(旧横田町)で実施された、国営農地開発事業「横田地区」の造成団地において、耕作放棄地対策に取り組んでいる地元農家と本NPOが連携し、奥出雲の在来品種である「横田子そば」の作付け畑で、除草作業を行いました。

連日猛暑のニュースが流れる中、標高450m程の所にある八川4団地では、作業時の気温は30℃を超えることはなく、都会の暑さを忘れての作業となりました。

ただ、春の種まき時に、気になっていた雑草をそのままにしていたことが原因なのかは不明ですが、一つのは場では大量の雑草が繁茂し“そば畑なの”という様な状態となっており、会員総出でそば畑に入り雑草の除去を行いました…一部のは場では今年の収穫は“?”が付きそうです。



蕎麦の花

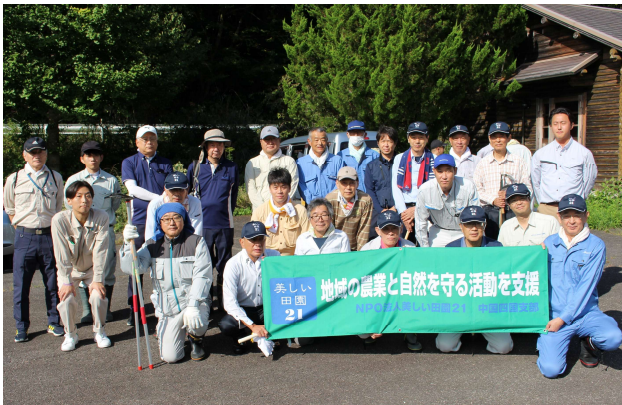


## 面河ダム清掃活動（第2回）

令和7年9月27日(土)午前 9 時から面河ダム（愛媛県上浮穴郡久万高原町）で行われた清掃活動に81名（うち会員等27名）が参加しました。

自然豊かな久万高原町にある面河(おもご)ダムは、国営かんがい排水事業「道前道後平野地区」にて、太平洋(高知県)に注ぐ仁淀川水系に設置されたダムで、四国山脈の山並みを越えて、愛媛県の道前平野・道後平野に用水を送水し、地域農業等の発展に大きな役割を果たしてきており、毎年、自然が育む水の恵みに感謝してダム湖最上流にあるダム公園の清掃活動を行っています。

今年は記録的な猛暑でしたが、作業当日の面河ダム(標高 700m)では気温 25℃程度で、参加者は気持ちのいい汗を流しました。面河ダム公園は延べ面積1ha 以上あり、NPO 美しい田園 21 にはサブグラウンドの清掃を任せられ、少し色づき始めたイチョウ等の木を眺めながら、会員が持参した草刈り機や鎌等を使用して除草作業を行いました。



参加者の集合写真



色づき始めたイチョウの下で



サブグラウンドで



サブグラウンド法面で

## 笠岡湾干拓地内の清掃活動

令和7年 10 月4日(土) 午前 9 時から笠岡湾干拓地(岡山県笠岡市)で行われた笠岡湾干拓土地改良区他が主催する清掃活動に 430 名(うち会員等 64 名)が参加しました。笠岡湾干拓地は岡山県の南西部に位置し、1,190ha の農業用地と460ha の工業用地を造成し平成元年度に完了した干拓地で、公園や道の駅等も整備され地域の方々に親しまれています。

干拓地では毎年、岡山県社会人対抗駅伝と広島県実業団駅伝を兼ねた「べいふあーむ駅伝」が開催され、それに先立ち笠岡湾干拓土地改良区等が主催して「笠岡湾干拓地内の清掃作業」を行っており、干拓地内にある「風車広場」に集合した参加者は、主催者からの注意事項を聞いた後、べいふあーむ駅伝のコースを中心に、開会式直前まで降っていた雨で濡れた道路沿いの雑草をかき分けて、広大な干拓地の清掃活動を行いました。



参加した会員



開会式



干拓地の道路沿いを清掃



農道空港の看板周りも

## 児島湾地区 七区小学校出前授業

令和7年10月10日(金)午前8時50分から、岡山市南区内の児島湖流域にある七区排水機場、七区5号樋門、一区干拓堤防跡地、児島湾締切堤防において、岡山市立七区小学校4年生児童21名、小学校教諭3名、児島湾七区土地改良区2名、岡山県土地改良区事業団体連合会5名、岡山市南区役所4名、及びNPO会員6名が参加して児島湾七区土地改良区が主催する出前授業が行われた。

児島湾七区土地改良区は、21世紀土地改良区創造運動の一環として、毎年、岡山市立七区小学校の4年生児童を対象に七区に関する土地改良施設の見学会を開催しており、当NPOは土地改良区と連携し、児島湾干拓の歴史や干拓工事の方法、ポンプのしくみ、児島湖の誕生についてパネル等で紹介しました。

七区小学校は、農林省が実施し昭和38年に竣工した児島湾七区干拓地内に位置しており、干拓地は岡山市中心部からも近いことから、混住化が進み、七区小学校の在校生は非農家家庭の児童がほとんどです。

児童たちは、自分たちが住んでいる場所が昔は海だったことに驚き、また、土地が海面より低いため排水ポンプの運転が必要であることを理解し、これらの施設を土地改良区の人たちが昼夜管理していることを学びました。



会員手作りの模型を使って干拓工事の方法を説明



七区排水機場内でポンプのしくみを説明



明治時代の干拓工事で造られた干拓堤防を説明



児島湾締切堤防の干拓資料館で説明

## 2025 中海干拓地（安来工区）クリーンアップ作戦

令和7年10月11日（土）9時から、安来市土地改良区及び安来中海干拓営農連絡協議会が主催する「2025 中海干拓地（安来工区）クリーンアップ作戦」に90名（うち会員等38名）が参加しました。

中海干拓地 安来工区 は島根県東部の安来市に位置し、国営中海土地改良事業で造成された4工区の干拓地のひとつです。

中海干拓安来工区は、農業生産の場であるほか、干拓地内に「中海ふれあい公園」もあり“やすぎランニングフェスティバル”などのイベントも開催され、地域と様々なかかわりを有しています。こうしたことから、営農者が中心となり、クリーンアップ作戦を開催し、美化活動を通じて干拓地のイメージアップを図ってきています。

本NPO法人も、参加団体として活動に協力しており、広大な干拓地を3つのエリアに分け、その中の1つをNPO法人が任せられ、干拓地内の道路沿いを中心にゴミ拾い等の清掃作業を行いました。

本活動は、平成17年から20年以上行われていますが、今年は地元テレビ局の取材もあり、夕方のローカルニュースで放映されるなど、この活動が地域に浸透している証ではないかと感じています。



参加したNPO会員



開 会 式



広大な干拓地内を清掃



T V局も取材

## 児島湖流域清掃大作戦

令和7年11月2日(日)午前8時30分から締切堤防会場 他5箇所で行われた「児島湖流域清掃大作戦(主催:児島湖流域環境保全対策推進協議会、共催:(公財)児島湖流域水質保全基金、(公財)岡山県環境保全事業団)」に2,211名(うち会員関係156名)が参加しました。

農林省が農業用水の確保等を目的に、岡山市の南部に位置する児島湾の湾奥を締め切り造成した淡水湖「児島湖」の、流域環境保全の推進を目的に毎年9月から11月を「児島湖流域環境保全推進期間」と定め、岡山県、国、流域市町(岡山市・倉敷市・玉野市・総社市・早島町・吉備中央町)及び民間団体等が一体となり、流域住民の理解と協力のもと、各種イベントを実施しており、主要行事として11月の第一日曜日に、児島湾締切堤防と児島湖に流入している河川等において「児島湖流域清掃大作戦」を行っています。

今年は、1週前に予定されていた早島町会場が雨により中止となりましたが、その他6会場では開催され、昨年は実施されなかった締切堤防会場でも活動が行われ、沢山の住民や本NPO 法人会員が参加し清掃を行い、回収されたゴミは全会場合計で約3トンでした。



参加した NPO 会員



開会式 (締切堤防会場)



児島湖での清掃状況(右が児島湖)



児島湖での清掃状況(奥が児島湖)

## 小坂部川ダム施設保全活動

令和7年11月20日(木)に小坂部川ダム堤体及びダム湖周辺で行われた高梁川用土地改良区が主催する「小坂部川ダム施設保全活動」に46名(うち会員20名)が参加しました。

本ダムは、国営小坂部川農業水利事業で造成された施設で、この地域は岡山県が「高梁川上流自然公園」に指定しており、美しい景観の保全保護が推進されているところです。

当日は爽やかな秋晴れの下、総勢46名(会員の他、土地改良区、国営岡山南事業所、岡山市、倉敷市職員等)で、ダム湖内のゴミ拾いや流木の回収(ゴミ袋約50袋)に加え、草刈及び堤体の清掃を行い、心地よい汗をかきながら無事に作業を終えることができました。



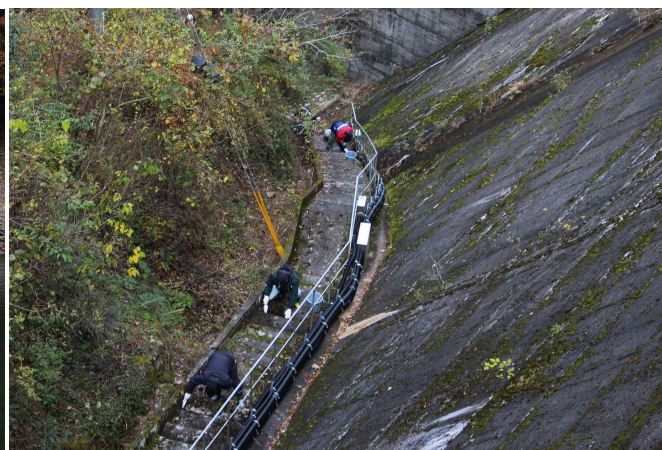
参加したNPO会員



CLTパネル工法で建てた管理所前に集合



ダム湖内の流木等を回収



堤高67mの堤体階段も清掃

九州支部

## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動

令和7年5月14日(水) 午前8:30から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に20名(うち会員15名)参加しました。

熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。

遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、これから行われる代掻き、田植え作業を待ち望んでいるところです。

今回の作業は、菜の花のタネの採取・つつじ苗木周辺の整備・つつじの植栽と多岐にわたりましたが、多くの皆さんの参加と丁寧なご指導を受け、好天にも恵まれ順調に作業を終えることができました。菜の花のタネは小学校の課外授業で今秋あらためて撒かれるとのこと。また、園児の散歩コースとして利用されるなど地域に大変親しまれています。

昨年12月12日に蓮池の枯葉・浮草などの除草作業を行いました。既に蓮の花が咲き始めています。古代蓮の花期は6月上旬から8月上旬であり、早朝より咲き始め午前7時頃から9時頃に満開となり、つぼみの状態に戻るとのことです。例年以上に見事な花が咲き誇ることが期待されます。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

作業前の集合



菜の花のタネ採取



つつじ苗木周辺の整備(1)



つつじ苗木周辺の整備(2)



## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第2回)

令和7年6月19日(木) 午前8:30から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に135名(うち会員13名)参加しました。

熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。

遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、これから行われる代掻き、田植え作業を待ち望んでいるところです。今回の作業は、ツツジ植木周りの除草と防草シート張り及び公園内の草取り作業でした。

また、本日は公園近くの熊本市立高平台小学校の4年生115名が課外授業の一環で助っ人として参加してもらいました。

まず、先生から「皆さんが使う地域の公園の草取りをしてきれいにしましょう」との掛け声の後、遊水地の会会長から取って良い草や残す花などの説明を受けながら作業を開始しました。生徒の中には間違っって花を取ってしまった子もいたようですが、梅雨の晴れ間の雲一つもない晴天のもと気温が30℃を超えるという厳しい条件の中、無事に作業を終えることができました。

子供達には今後も環境美化活動への取組に理解を深めていただきたいと思います。

作業前の集合



ツツジ周りの除草と防草シート張り



生徒へ作業の説明をする会長



作業中の生徒たち



## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第3回)

令和7年7月15日(火)午前 7:30から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に15名(うち会員8名)参加しました。

熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、水稻もいよいよ穂の生育期へと向かい実りの秋が楽しみです。今回の活動は、毎年実施している遊水地内の刈り払い機による葦・ヨシ及び蓮池周辺の草刈りを行いました。現場は、凸凹があるうえに数日前からの降雨によりぬかるんでおり、足を取られながらの作業となりました。

熊本市では6月27日の梅雨明け以降、連日、猛暑日が継続していましたが、7月8日以降適度な降雨があり、当日は曇天、風があり比較的作業がやりやすい環境となりました。しかし、湿度が高く、気温がそれほど高くなくても熱中症になるリスクが高いとのことであり、1時間ごとの休息と水分補給を行い、怪我・事故が無く、熱中症者を出さず終えられたことが何よりです。作業後はかき氷を食べ、しっかりクールダウンしました！

作業前の集合



葦・ヨシの草刈り作業前



葦・ヨシの草刈り作業



蓮池周辺の草刈り作業



## 国営玉名横島海岸保全事業地区 大浜海岸一斉清掃支援活動

令和7年8月24日(日)午前7:00から熊本県玉名市大浜海岸で行われた大浜漁業協同組合が主催する「大浜海岸一斉清掃支援活動」に255名(うちNPO会員32名、関係会社職員・家族73名、地元150名)が参加しました。

大浜海岸(堤防)は国営横島干拓事業(S26～S49)として造成面積624ha(うち農地479ha)の施設として建設されました。堤防の補強は当初県営事業で始まりましたが、昭和34年の伊勢湾台風により全国的に高潮被害が発生し、昭和35年全国で初めて直轄(国営)海岸保全事業「玉名地区」(S35～S54)として整備されました。さらに、平成12年から防護、環境、利用の調和の取れた海岸づくりを目指して「玉名横島地区」に着手し、整備が進められているところです。

本活動は令和元年を最後にコロナ禍の影響や「玉名横島地区」での整備が進み、ゴミの漂着が減少したことに伴い玉名市以外の活動組織への協力依頼が行われず、不参加となっていました。

今年は8月10日深夜から11日朝にかけて降った記録的大雨により一級河川菊池川から多くのごみ等が漂着し、当会は堤防西海岸笠洲周辺を中心に清掃を行いました。作業は主催者の挨拶のあと、堤防に漂着したペットボトル、空き缶やプラスチックゴミ等を集めました。天候は曇り空ながら気温が高く、汗を流しながら作業を終えました。

集合写真(1)



集合写真(2)



作業中



ゴミ集積状況



## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第4回）

令和7年8月26日(火)午前7時30分から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた「高平台校区坪井川遊水地の会」主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に16名(うちNPO会員10名、関係会社職員3名、地元3名)が参加しました。

熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、いよいよ稲刈りが始まり、これから繁忙期を迎えます。

今回の活動は、坪井川遊水地周辺に設置されているフェンスに絡まる葛等を取り除く作業を行いました。作業はツルがフェンスをはじめ周辺の桜の木まで絡まり、相当の時間を要することが予想され、早朝から作業を開始しましたが、日差しが強く、午前9時には気温が30℃を超える酷暑の中での作業となりました。

しかし、多くの皆さんに参加して頂き、また主催者より麦茶の差し入れがあり、しっかり熱中症対策をとりつつ予定どおり作業を終えることができました。

なお、8月10日深夜から11日朝にかけて降った記録的大雨時には坪井川遊水地も本来の機能を発揮したようですが、排水先の河川水位が高く排水出来ない時間帯があったとのこと。

作業前の集合



葛等の除草作業前



葛等の除草作業中



葛等の除草作業中・後



## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第5回）

令和7年9月30日(火)午前7時30分から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた「高平台校区坪井川遊水地の会」主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に9名(うちNPO会員7名)が参加しました。

熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、いよいよ稲刈りが始まり、これから繁忙期を迎えます。

今回の活動は、7月に続き2回目の「ヨシ刈り作業」を行い、追加作業として芝公園の草刈りを併せて行いました。熊本市では6月27日の梅雨明け以降、連日、猛暑日が継続していましたが、8月11日には210.5mmの雨量を記録し、8月の総量は708.5mm(平年195.4mm)となりました。このため、坪井川遊水地は本来の機能を発揮し、周辺地域の浸水被害の軽減に寄与したとのこと。

一方、遊水地内は例年になくぬかるんでおり、足を取られながらの重労働となりました。幸い午前中は比較的涼しく作業がしやすい環境となり、秋空の下足場は悪かったものの追加作業も併せて怪我・事故が無く、無事終わることができました。

作業前の集合



ヨシの草刈り作業中



ヨシの草刈り作業後



芝広場の草刈り作業後



## 旧玉名干拓施設（末広・明丑潮受堤防）草刈り清掃活動

令和7年10月25日（土）7時～9時30分に熊本県玉名市の旧玉名干拓施設（末広・明丑堤防）において、横島町文化財保存顕彰会が主催する草刈り清掃活動が行われ、320名（うちNPO会員41名、関係会社職員177名）が参加しました。

旧玉名干拓施設は、明治20年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に、熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設です。施設は、末広開、明丑開、明豊開及び大豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長は5.2kmに及び、国の重要文化財に指定されています。

今年は同施設の西側に位置する末広開潮受堤防・明丑開潮受堤防（2.8km）を対象に、除草作業と空き缶等のゴミ拾いを行いました。

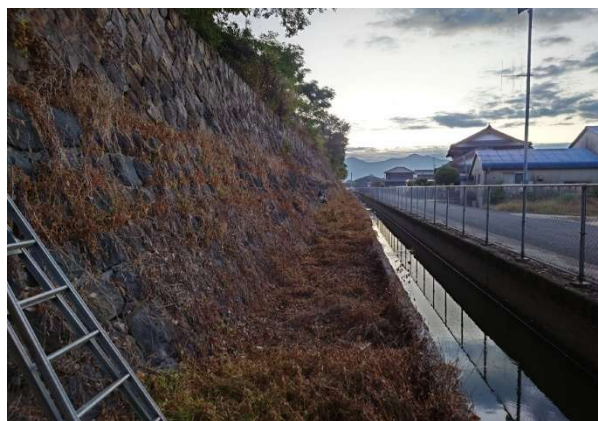
当日は7時から受付を予定しておりましたが、参加者皆さんの集まりが良く、作業開始予定の7時30分を待たず作業開始となりました。この夏は猛暑が続きましたが例年並みに雑草が繁茂し、作業中の気温は20℃以下でしたが日差しがあり、作業中盤から汗を流しながらの作業となりました。多くの皆さんに参加して頂き、作業終了予定時間前に終わることができました。

作業は草刈りから集積までとし、後日、草が枯れてから主催者が搬出を行う予定です。

参加者の集合写真



草刈り作業前



草刈り作業状況



草刈り作業完了



## 天神ダム周辺（千本さくら等）環境整備活動

令和7年11月15日(土)午前8時～10時に天神ダム(宮崎県大淀川水系境川、右岸側:宮崎市田野町、左岸側:都城市山之口町)で行われた大淀川右岸地区管理体制整備推進協議会が主催する「天神ダム周辺(千本さくら等)環境整備活動」に290名(うちNPO会員25名、関係会社職員62名)が参加しました。

この活動は、天神ダム周辺に植栽されている“千本さくら”の管理作業の一環として、天神ダムの良好な景観の保全並びに水源のかん養を図ることを目的にコロナ禍(R3・4年)を除き毎年開催されています。

当日は宮崎市役所をはじめ14団体が集合し予定どおり8時から開会式を行い、4ブロックに分かれ作業が行われました。作業開始時の気温は10℃と肌寒かったものの、作業終了時には汗だくとなりました。今年は雑草が最も成長する6月～7月の降水量が平年の8割程度と少なかったものの、気温が下がり成長が鈍くなる9月～10月を含め気温が高かったことなどから例年になく、雑草の成長が良かったようです。

作業は草刈り機、鎌等で桜の樹の周辺に繁茂した下草を刈り、くま手等で集積を行い予定どおり終了しました。桜は例年3月下旬に開花し、4月初めには満開となります。お近くにお越しの節は、是非お立ち寄りください。



参加者の集合写真



作業前



草刈り作業状況



作業後

## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第6回）

令和8年2月12日(木)午前9時から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた「高平校区坪井川遊水地の会」主催の坪井川遊水池公園環境整備支援活動に9名(うちNPO会員7名)が参加しました。

熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、都市化の中でも田園風景が維持されているところです。

今回の活動は、坪井川湧水地の花壇(堤防斜面)に繁茂しているツル性雑草の除草作業です。

当日は年明けからの寒波も和らぎ、作業中は晴天に恵まれ風もなく、日差しが温かく、環境整備活動にはもってこいの天気となりました。

ツル性雑草は成長が非常に早く、他の植物や構造物に巻き付いて覆い尽くす強害雑草です。地上部を刈り取っても地下茎から再生するため丁寧な除草が必要です。軽作業ではありますが、作業が進むにつれ口数も少なくなり、中腰でのなかなかしんどい作業となりました。午前中には概ね予定していた範囲の除草作業を終えることができました。

現在菜の花がほころび始め、これから河津桜、ソメイヨシノの開花が始まります。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

参加者の皆さん



除草作業(1)



除草作業(2)



除草作業後



## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動（第7回）

令和8年3月23日(月) 午前9時から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた「高平台校区坪井川遊水地の会」主催の坪井川遊水池公園環境整備支援活動に12名(うち会員6名)が参加しました。

熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、都市化の中でも田園風景が維持されているところです。

今回の活動は、坪井川湧水地公園の最下流部にクルミの植樹を行いました。

当日は晴天に恵まれ風もなく、日差しが強く、上着を脱ぎ、額から汗を滴らせながらの作業となりました。

植樹を行った場所はセンダンの木やくずが生い茂り、なかなか手が付けられなかったことから地元有志により、事前にセンダンの木の伐採やくずや雑草の刈り払いが行われておりましたが、くずはつる性の多年草で繁茂力が高く、根絶は困難とのことでした。このため、クルミの木の周囲1mにある根、地下茎を除去した後、植樹となりなかなか大変な作業となりました。収穫までは4年から8年かかるとのことですが、また一つ楽しみが出来たようです。

現在、河津桜は終わり、当日熊本では桜の開花宣言があり、あと数日でソメイヨシノと菜の花が同時に咲き誇ります。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

参加者の皆さん



作業前の植樹講習



植樹作業



開花を待つ桜と菜の花

